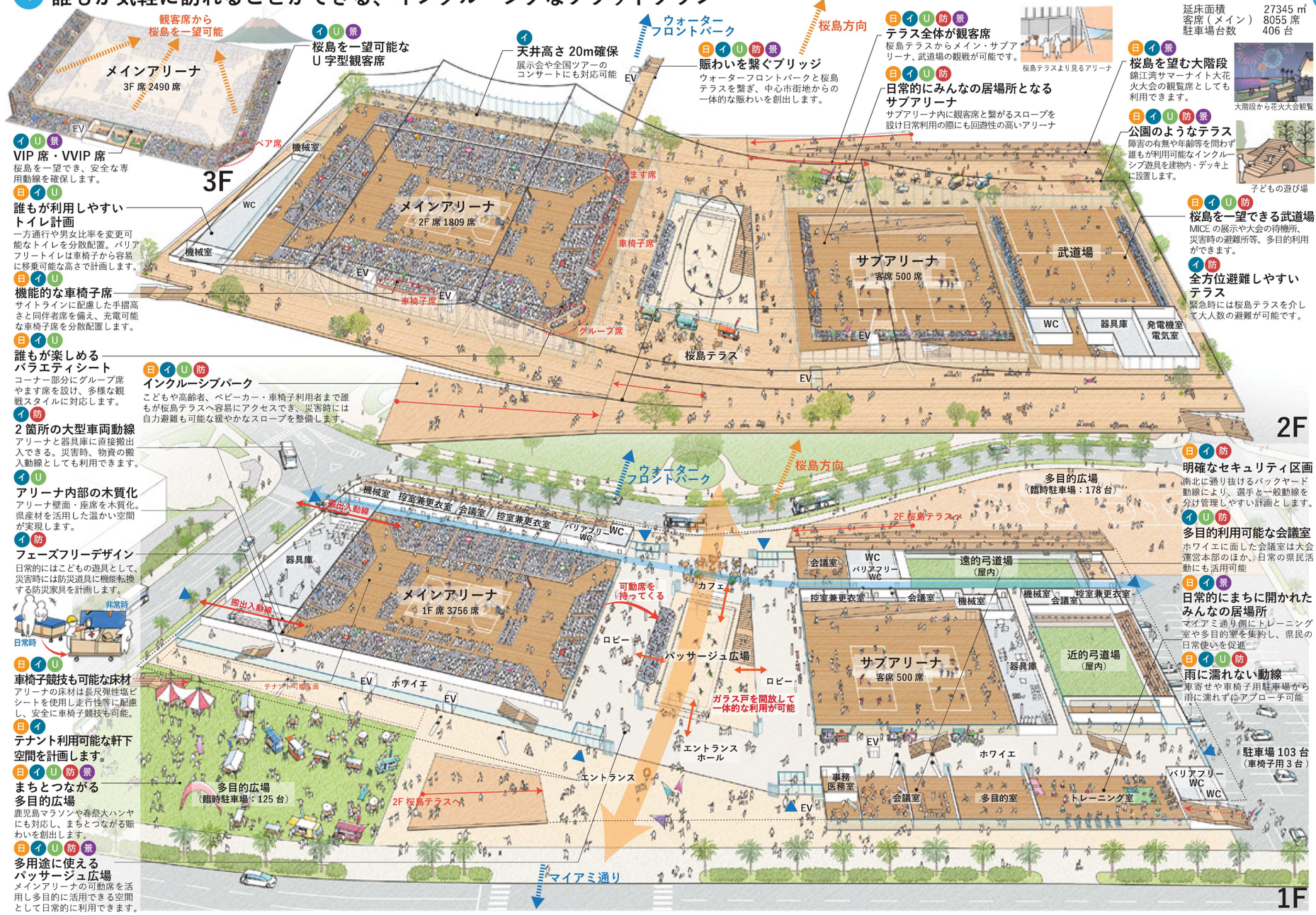
※プロポーザル方式は、最も適切な提案者（人）を選ぶ方式であり、提案内容が必ずしもそのまま設計案となるものではありません。

日 日常使い　イ イベント（スポーツ／コンサート／MICE）　U ユニバーサルデザイン　防 防災対策　景 景観配慮

4 誰もが気軽に訪れることができる、インクルーシブなフラットプラン

〈テーマ 1〉県民の健康増進とスポーツの振興に加え、イベントにも有効活用できる施設 / ＜テーマ 3＞賑わい創出 / ＜テーマ 4＞ユニバーサルデザイン / ＜テーマ 5＞災害対応



桜島テラスより見るアリーナ

大階段から花火大会観覧

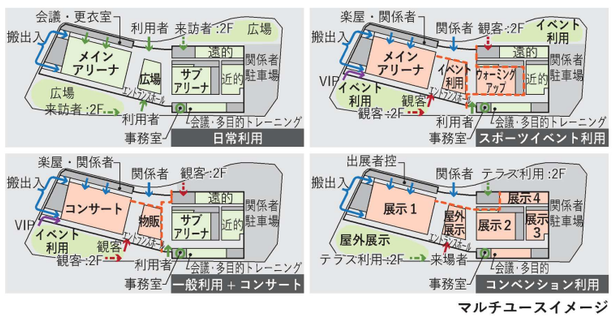
子どもの遊び場

延床面積　27345 ㎡
客席（メイン）　8055 席
駐車場台数　406 台

日 イ U 防
明確なセキュリティ区画
南北に通り抜けるバックヤード動線により、選手と一般動線を分け管理しやすい計画とします。
イ U 防
多目的利用可能な会議室
ホワイエに面した会議室は大会運営本部のほか、日常の県民活動にも活用可能
日 イ 景
日常的にまちに開かれたみんなの居場所
マイアミ通り側にトレーニング室や多目的室を集約し、県民の日常使いを促進
日 イ U 防
雨に濡れない動線
車寄せや車椅子用駐車場から雨に濡れずにアプローチ可能

■高稼働、マルチユースのフラットプラン

・主要諸室を 1 階に配置し、中央のパッサージュ広場をフレキシブルに活用することで、日常利用、スポーツ、コンサート、コンベンション等すべてに使いやすい計画とします。

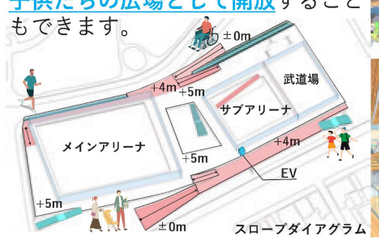


マルチユースイメージ

■どんな人にも開かれたインクルーシブパーク

・建物全体にスロープを巡らせて地上から連続する回遊性を確保し、車椅子利用者や子ども、高齢者まで誰もが自然に巡ることのできる「立体的な公園」として計画します。

・明るい自然光の差し込むサブアリーナは、平日の日中やイベント・競技などの予定の入っていない時間帯は子供たちの広場として開放することもできます。



スロープダイアグラム

南北に長い敷地に沿ったスロープ

こども広場としても開放可能なサブアリーナ

■いつもの居場所がもしもの居場所に

・フラットプランにより、災害時においても、上下移動負担のない避難所対応が可能となります。

・パッサージュ広場は一時避難や、屋根付きの炊き出しスペースとしても活用可能です。

・非常時備品一体型家具を配置。いつもの利用がもしもに繋がる、フェーズフリーのデザインとします。

災害時の機能転換

5 桜島の絶景をのぞむ世界で唯一のアリーナ空間

〈テーマ 1〉県のスポーツの振興、イベント活用〈テーマ 2〉景観・鹿児島のシンボル的施設

・東面の大開口から桜島を一望できる眺望は、敷地の魅力を最大化し、ここにしかない個性と美しさを実現します。

メインアリーナ（スポーツ時）

絞り緞帳による完全暗転

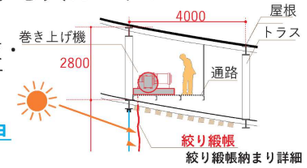
メインアリーナ（コンサート時）

■完全暗転と演出を同時に実現する大カーテン

・一般的な絞り緞帳の仕組みを用い、単純な機構で開閉を可能にし、競技・イベント時の完全暗転を実現します

・防音・吸音性能も担保します。

・県のマークと同じ青のグラデーション色は、空と海を想起させます。



絞り緞帳納まり詳細

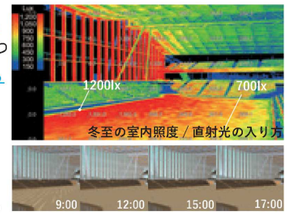
■自然光を取り込むいつも明るいアリーナ

・方位的に年間を通してほぼ直射光が入らない配置特性と外付けルーバーによって、天空光の明るい空間を実現します。

・日常時は、自然光（天空光）を取り入れ、照明なしで明るさを確保します。

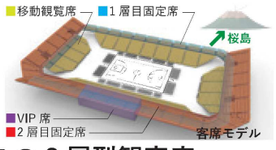
・競技時は、グレアが生じない人工照明とするハイブリッドな照明計画とします。

・災害時には明るく安心な避難所にします。



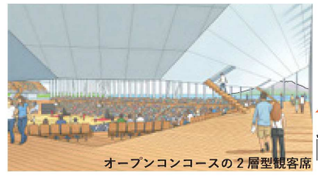
■桜島を望む U 字型観客席

・観客席 2 層目を桜島側に開いた特徴的な U 字型客席配置とします。1 層目は 4 周を囲い、大会や興行時の臨場感の確保も可能です。

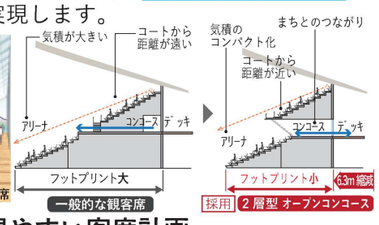


■まちと繋がるオープンコンコースの 2 層型観客席

・2 層型のオープンコンコース形式の観客席により、アリーナと外部が一体的につながる計画とし、同時にフットプリントのコンパクト化や臨場感向上も実現します。



オープンコンコースの 2 層型観客席



■だれもが楽しみやすく観やすい客席計画

・グループ席やます席等のバラエティーシートを計画し多様な観戦・観覧スタイルに対応します。

多様な人を受け入れるバラエティシート